

# Anniversary

60年のあゆみ



FUKUOKA HOST LIONS CLUB WeServe



ライオンズクラブ国際協会337-A地区 福岡ホストライオンズクラブ

# 福岡ホストライオンズクラブ概要

- ▶ 結成式 1955年(昭和30年)6月14日
- ▶ 国際本部登録 1955年(昭和30年)6月14日
- ▶ 結成国内順位 13
- ▶ 337複合地区順位 1
- ▶ スポンサークラブ 神戸ホストライオンズクラブ
- ▶ チャーターメンバー 25名
- ▶ 現在在籍者なし。1名は転籍会員  
(元福岡県知事土屋香鹿)
- ▶ チャーターナイト 1955年(昭和30年)9月24日
- ▶ アカウントナンバー 023998
- ▶ 2015年8月現在 60名(8月入会者を含む)

## エクステンションクラブ

- |         |       |
|---------|-------|
| 久留米LC   | 1956年 |
| 北九州LC   | 1957年 |
| 直方LC    | 1958年 |
| 熊本LC    | 1958年 |
| 北九州八幡LC | 1959年 |
| 北九州若松LC | 1959年 |
| 別府LC    | 1959年 |
| 大牟田LC   | 1959年 |
| 佐賀LC    | 1959年 |
| 福岡中央LC  | 1963年 |
| 福岡博多LC  | 1965年 |
| 福岡鶴城LC  | 1972年 |

以上の12クラブによって沖縄地区を除く  
九州全クラブが結成されました。

ちなみに沖縄LC(1958年/昭和33年結成)は  
大阪南LCがスポンサークラブです。

- ▶ 友好・姉妹クラブ (5クラブ)
  - 沖縄ライオンズクラブ
  - 釜山中区ライオンズクラブ
  - 名古屋ホストライオンズクラブ
  - 台北第一(中央)国際獅子會
  - 広島ライオンズクラブ

- ▶ 福岡ホストライオンズクラブの今までの在籍登録 375名
- ▶ 第1期会長 L杉森司(1969~1970年 302W-Fガバナー)
- ▶ 第2期~第4期会長 L貝島義之(1960~1961年 302Fガバナー)
- ▶ 第23期会長 L土屋呂武 1986~1987年 337-Aガバナー  
1992~1994年 国際理事



認証状



国際理事バナー

このほか、各界を代表する会員が多数在籍されていました。

# 歓迎のごあいさつ

Greetings of welcome



大会会長  
川久保 仁司

## 感謝・感動を未来につなぐ

今から60年前、皆様はどのような時代をお過ごしになられていらっしゃったでしょうか。1955年(昭和30年)、神戸ホストライオンズクラブのスポンサーにより、私たち福岡ホストライオンズクラブは誕生しました。巷では東京通信工業(現:ソニー)がトランジスタラジオを発売し、石原慎太郎氏『太陽の季節』で直木賞を受賞した年でありました。この年、九州に初めてライオンズクラブが誕生したのです。以降、その輪は確実に広がっており、現在115のクラブで活発な奉仕活動を行なっています。ちなみに私は昭和36年生まれで、実はクラブ誕生後に生を受けました。

本日、福岡ホストライオンズクラブ60周年記念例会を迎えるにあたり、大会会長として、ここまで我がクラブを育ててくださったすべての皆様に感謝申し上げます。ご来賓の皆様、ライオンズクラブ各役員の皆様、スポンサーである神戸ホストライオンズクラブの皆様、また姉妹・友好クラブの釜山・台北・沖縄・名古屋・広島クラブの皆様、エクステンションクラブの方々、また志を一つにしてここまで共に歩んできただけた皆様お一人お一人のお力添えとお導きにより今日、この日を迎えますことがかないました。

そしてまた、忘れてはならない大きな感謝を我が福岡ホストライオンズクラブのチャーターメンバーに捧げます。60年前に集いし25名のチャーターメンバーのお陰で今の私たちがあります。チャーターメンバーなくして、チャーターナイトなくして、今の私たちはありません。私たちは皆さんの子どもです、孫です。60年前に灯された1本のあかりを、ライオニズムをこれからも継承して参ります。あらためてお誓い申し上げる次第でございます。

本日御来臨いただきました皆様のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げましてご挨拶とさせていただきます。



福岡ホストライオンズクラブ  
60周年記念例会  
大会委員長  
中田 徹

## 多大な感謝を 奉仕の精神にかえて

戦後10年を迎えた1955年、神戸ホストライオンズクラブのスポンサーにより全国13番目、九州で初めてのライオンズの灯がここ福岡の地に灯されました。はや60年、昨年3月に名称も福岡ホストライオンズクラブとさせていただきました。

発展のさらなる原動力としてご尽力いただいた12のエクステンションクラブ、交流を通し活力をいただいている釜山中区ライオンズクラブ、台北第一ライオンズクラブ、沖縄、名古屋、広島の姉妹各ライオンズクラブの皆様方、また本日ご臨席の皆様、337-A地区役員の皆様、4リジョンすべてのクラブ同志のご援助・ご指導の賜物と深く感謝申し上げます。

また、本年は1981年の村上薰国際会長ご就任以来、実に34年ぶり日本人として二人目となる会長 山田實紘氏がご就任された記念すべき年でもあります。節目の年に際しまして誠に意義深く、誇らしく感じる次第でございます。

このたび60周年記念例会をご案内致しましたところ、小川洋福岡県知事、高島宗一郎福岡市長(我がクラブの会員でもいらっしゃいます)をはじめ、ライオンズクラブの各役員、4リジョン、7リジョンクラブの代表の皆様のご臨席を賜ることができました。

おかげさまで有意義な例会を催す運びとなりましたことを深謝申し上げますとともに、心より歓迎の意を表したいと存じます。

さらに70年、80年、その先の100年に向けてライオンズクラブの活性化、会員増強の基礎となる奉仕活動に邁進していくよう、充実した記念例会をめざし会員一同準備致しました。ミアンマーにおける奉仕活動の発表他、二部の祝宴まで、何かと行き届かない点も多々あるかと存じますが、最後まで楽しくご参加いただけますようお願いしご挨拶の言葉と致します。

# 祝辞

Congratulations



福岡県知事

小川 洋

福岡ホストライオンズクラブの結成60周年を心からお慶び申し上げます。

皆様は、昭和30年に九州で初めて結成されたライオンズクラブとして、九州盲導犬協会への寄附や福祉施設「JOYひこばえ」へのテント寄贈などを通して、障がい者の支援に積極的に取り組んでおられます。

また、少年少女俳句大会や若獅子旗西日本なぎなた大会への支援など、青少年の健全育成のほか、ミャンマー国での小学校建設、救急車の寄附など、国際貢献活動にも大変御尽力を頂いております。

歴代の役員並びに会員の皆様の御熱意、御努力に、改めて敬意を表します。

今日、私達を取り巻く社会環境は、少子高齢化、人口減少の進展など大きく変化しています。こうした中、社会の活力を維持し、住みよい環境を作っていくためには、行政だけではなく、ライオンズクラブの皆様をはじめ、NPO・ボランティア、企業など多様な主体が、互いに協力し、支え合う「共助社会」を作ることが求められています。

社会の幅広い分野で、リーダーとして活躍されている皆様が、率先して取り組んでおられる社会奉仕活動は、こうした社会を実現するための大きな推進力、原動力となります。

私は、県民の皆様が「福岡県に生まれてよかった、生活してよかった」と思っていただける「県民幸福度日本一」の福岡県を目指しています。

そのためには、「We Serve」の精神のもと、御活躍されている皆様方のお力が必要です。

この60周年を契機として、さらに結束を強められ、充実した活動を展開されますことを願っています。

福岡ホストライオンズクラブの益々の御発展と、会員の皆様の御活躍、御健勝を心から祈念いたします。



福岡市長  
高島 宗一郎

福岡ホストライオンズクラブの60周年記念式典が盛大に開催されますことを心よりお祝い申し上げます。

皆様におかれましては、昭和30年のクラブ結成以来、奉仕活動を契機として人とのふれあい・見聞を広められるとともに、国内外において、ボランティア活動や、青少年健全育成への協力支援など様々な活動を続けておられます。これらの活動が長きにわたり継続されておりますのも「WE SERVE—われわれは奉仕する—」という尊い奉仕の精神のもと、歴代会長をはじめ、役員・会員の皆様方の熱意とご努力によるものと、心から敬意を表する次第であります。

特に、海外での支援活動については、平成23年からミャンマー・ヤンゴン市で建設に取組まれているダンマラッキタ寺院付属小学校・青少年職業訓練校の新校舎が昨年完成し、この60周年記念式典に先生や生徒をご招待されるなど、積極的に展開されております。ヤンゴン市とは、福岡市も「まちづくり協力・支援に関する覚書」を締結し、水道事業をはじめとする様々な都市問題の解決に協力していくこととしており、今後、皆様の幅広い支援活動と連携していくことも期待できます。

福岡市では、「都市の成長」と「生活の質の向上」の好循環を創り出すことを都市経営の基本戦略として掲げ、「人と環境と都市活力の調和がとれたアジアのリーダー都市」を目指して、まちづくりを進めております。全国的に人口減少が進む中、福岡市は人口や観光客が増え続け、国内外から暮らしやすい都市と評価されるなど、元気なまち・住みやすいまちとして存在感が高まっています。このように高い評価をいただけておりますのも、ライオンズクラブをはじめとした皆様のご活躍に支えられているところが大きいと感じております。

来年6月には「第99回ライオンズクラブ国際大会」が福岡で開催されます。この大会は、国内外から約3万5千人が訪れる過去最大の国際会議で、観光・コンベンションの誘致に力を入れている福岡市といたしましては、大会の成功に向けて全力で取り組んでいく所存でございます。

最後になりましたが、福岡ホストライオンズクラブの今後のますますのご発展と、会員の皆様方のご健勝とご活躍を心より祈念し、お祝いのことばといたします。

# 祝辞

Congratulations



衆議院議員

山本 幸三

福岡ホストライオンズクラブ60周年記念大会の御開催をこころよりお慶び申し上げます。

貴クラブが種々の奉仕活動に加えて、ミャンマーの恵まれない子供達に対する慈善事業を続けてこられたことに対し深い敬意を表します。

私も古賀誠元遺族会会長とともに、ミャンマーにおける墓地の整備を契機に日本とミャンマーの友好関係発展のために微力ながら努力して参りました。ヤンゴンの日本人墓地に眠る英靈の御靈に手を合わせるたびに、「よくぞこの辺地までやって来て、日本国家、国民の為に身命を賭して下さったものだ。」と胸が熱くなるのを禁じ得ませんでした。そして、戦後ミャンマー（旧ビルマ）の人達が捕虜となった日本人達に示してくれた温かい慈悲の心に思いを致すとき、何としてもその御恩返しはしなければならないという気になるのは、至極当然のことだと思います。

そうした中で、貴クラブがホストとしてミャンマーに新しくライオンズクラブを設立しようと立ち上がったことは、誠に時宜を得たものと考えます。昨年7月、自民党日本・ミャンマー友好議員連盟のミャンマー訪問に際し、貴クラブからも同行していただき、ミャンマーにおけるライオンズクラブ設立の意義等について、ティン・セイン大統領、ソー・ティン大統領府大臣など主要閣僚に説明、理解を得るに至ったことは極めて意義深いものがありました。また、私は日米国会議員会議等の場でアメリカの過度の制裁がかえってミャンマーの発展を妨げていることを説き、人的制裁も徐々に解消しつつあることを大変嬉しく思っております。

ミャンマーの民主化はまだまだ始まったばかりであり、我々が普通と思っている常識がなかなか通りにくいこともあります。貴クラブのような地道な努力が必ずやミャンマー国民の心を掴み、ミャンマーに新たなライオンズ魂が根付いていくものと確信しております。

今後の貴クラブと会員の皆様方の一層の御活躍、御発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉と致します。



西日本新聞社 代表取締役社長  
**川崎 隆生**

福岡ホストライオンズクラブが創立60周年を迎えたことを心からお祝い申し上げます。貴クラブが九州において初めて設立されたライオンズクラブとして、これまで長年にわたり社会奉仕活動や国際貢献に取り組まれてきたことに、地元の新聞社としてあらためて敬意を表します。

さまざまな社会奉仕活動のなかでも、ミャンマーへの支援活動は2007年にはじまって以来、毎年続けられています。この援助は学校の建設費用、病院や孤児院の運営費用、サイクロン被災者への救援費用などに充てられ、青少年育成や社会インフラ整備に大きく寄与しています。福岡市がミャンマー・ヤンゴン市の水道事業に協力していることとともに、福岡とミャンマーの友好関係構築に大きく貢献されている証です。

貴クラブと西日本新聞社は、共催事業として「少年少女俳句」大会を1973年から開催しており、昨年までに56回を重ねています。こどもたちが俳句を通して四季折々の自然や風物に親しみ、日本の伝統文化に触れるまたとない機会になっております。

来年、第99回ライオンズクラブ国際大会がここ福岡市で開催されます。世界各地からライオンズクラブメンバーが数多く参加される大会が日本では東京、大阪につぐ3都市目として開催されることを喜ぶとともに、この大会を機に福岡市がアジアに開かれた国際都市としての知名度をさらに高めるものと期待しております。

最後になりますが、貴クラブが九州のライオンズクラブをリードする存在として今後ますます発展されることと、メンバーの皆様のご健康を祈念いたします。

# 祝辞

Congratulations



ライオンズクラブ国際協会 国際会長  
**山田 實紘**

福岡ホストライオンズクラブの皆様へ

このたび、貴クラブが結成60周年を迎えたとのこと、心よりお祝いを申し上げます。

周年記念は、これまでクラブが成し遂げてきたことを顧みると同時に、新たな奉仕の可能性を望む機会です。達成した成果を祝いつつ、さらなる向上を目指し新たな道を探る必要があります。まさに、私が皆さんにお話ししておりますように、「温故知新」のことわざのとおり、よき伝統と悪しき慣習を見極めて新しい一歩を踏み出す絶好の機会であります。

皆様がこれまで、思いやりの心を持ち、人々に献身的に援助の手を差し伸べてこられたお蔭で、ライオンズクラブ国際協会は、およそ一世紀に渡り奉仕におけるグローバル・リーダーの地位を維持することができました。

貴クラブは、チームとして一致団結すれば、一人で出来ることよりも一層大きなことを成し遂げができるのだということに気づいた、思いやりのある気持ちを持った有志によって結成されました。協力すれば、私たちは地域で、そして世界で、数えきれない人々の人生をより良く変えることができます。力を合わせれば、奉仕を通じて人々の命の尊厳が守られ、平和がもたらされます。共に取り組めば、達成できることは無限です。

今年度、福岡で行われる国際大会が大成功となるようご協力いただいておりますことに深く感謝いたします。

重ねて、貴クラブが60周年を迎えたことをお慶び申し上げます。奉仕における貴クラブのますますのご発展をお祈りいたします。



元国際理事  
GLT会則地域副リーダー  
第99回国際大会ホスト委員会 委員長  
**不老 安正**

秋晴れのさわやかな空のもと、本日ここに福岡ホストライオンズクラブの誠に輝かしい創立60周年記念式典が盛大に開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。

貴クラブは1955年、神戸ホストライオンズクラブのスポンサーにより日本国内で13番目のクラブとして結成されました。継続は力なりとよく言われますが、60年を通して活発な地域活動を実施され、天神中央公園に桜の植樹や盲導犬協会への支援金など愛情あふれる活動により、なくてはならないクラブとして地域に愛されておられます。また、釜山や台北との姉妹クラブ締結、ネパールやミャンマーへの積極的な支援等、常にグローバルな視点を忘れず行動力と情熱をもって奉仕活動を展開されています。

貴クラブはエクステンション活動に対しても積極的に取り組まれ、現在までに12のクラブをエクステンションされ、人のつながりと広がりを創造し会員増強に大いに貢献されました。心より賛辞をお贈りするとともに、貴クラブの今後の活躍に大いに期待しております。

今期、山田實紘国際会長は「Dignity. Harmony. Humanity. (命の尊厳と和)」をテーマとされ、平和、希望、決意、チームワーク、そして奉仕がつなぐ人と人との絆、それこそが核心だと呼びかけられておられます。ライオンズである私たちは、人類に仕えることは義務ではなく、我々の責任であることを肝に銘じ、たゆまず努力を続けていくことが求められています。

最後になりましたが、この60周年を契機として貴クラブがますます地域のリーダーシップを発揮され、更なる発展と皆様方のご健勝、ご多幸を祈念申し上げお祝いの言葉と致します。

# 祝辞

Congratulations



ライオンズクラブ国際協会 337-A地区ガバナー  
**藤井 勝彦**

本日ここに福岡ホストライオンズクラブ創立60周年記念式典が盛大に開催されることを心よりお祝い申し上げます。

貴クラブは昭和30年6月14日、神戸ホストライオンズクラブをスポンサークラブに日本で13番目のライオンズクラブとして誕生され、九州に最初の1本のあかりを灯されることとなりました。

以来60年もの永きに渡り、多くのクラブをエクステンションし、少年少女俳句や九州盲導犬協会の支援、子ども発達支援施設joyひこばえの支援、ミャンマーダンマラキッタ寺院小学校支援など多くの奉仕活動を精力的に実施され、常に我々の目標となるクラブ運営を行ってこられましたことに敬服いたしております。

また、本日の式典には、貴クラブのご招待により ミャンマーダンマラキッタ寺院小学校 の生徒の皆さんのが来日されていらっしゃいます。生徒さん達の見聞を広め、今後の人生の指針となる大きな機会となりますように貴クラブのサポートを期待しています。

結成60年。まさに「還暦」を迎える貴クラブの、次の60年の輝かしい未来を祈念してご挨拶とさせていただきます。



神戸(ホスト)ライオンズクラブ会長  
**瀬川 雅矢**

このたびは、福岡ライオンズクラブが創立60周年を迎えたことを、心からお祝い申し上げます。  
そして、私共をお招き頂きまして心より感謝を申し上げます。

貴クラブは、創立より60年間もの長きにわたり、地域社会のために幅広い奉仕活動を行われており、代表クラブとして、地域のお手本となり盛り立ててこられた成果に改めて心より敬意を表します。

貴クラブは、神戸(ホスト)ライオンズクラブが、1955年6月14日にエクステンションをさせて頂き、それ以来、先輩から伝統を継承し長きに渡り両クラブがリレーションシップを継続し現在に至れることを心より感謝を申し上げます。

次の第99回世界大会も福岡で開催される予定でございます。第100回シカゴ世界大会を目の前にして、福岡での開催は嬉しく思います。貴クラブのリーダーシップと行動力を發揮すれば、必ず成功する事と確信しております。

これからも、貴クラブでは、クラブメンバーが更に一致団結し、新たな歴史と伝統を刻まれ、一層の飛躍を成し遂げられますことを心より願っております。

最後になりましたが、貴クラブのますますのご発展と会員皆様のご健勝、ご多幸を祈念申し上げます。

# 祝辞

## Congratulations



ライオンズクラブ国際協会355-A(釜山)地区  
釜山中区ライオンズクラブ会長  
**L. イ・ジョンジュ**

皆様、こんにちは！

川久保 仁司会長、役員の皆様及び、会員の皆様！

貴クラブ、創立60周年記念式典を釜山中区ライオンズクラブ200余名の会員と共に心よりお慶び申し上げます。また、本日この盛大な記念式典にて祝辞を述べさせて頂けますことを誇りに思います。

1979年6月28日、貴クラブと私共、大韓民国釜山中区ライオンズクラブは姉妹締結を結び、36年になりますが、貴クラブは友情と親善、またライオニズムを広めるため活動してこられた、誇らしい名門のクラブでございます。

これからも100年、200年につながる姉妹血縁の絆が続いていきますことを切に願っております。

尊敬する福岡ホストライオンズクラブ家族の皆様！

2015年～2016年は世界のライオンズを指導される山田 實紘国際会長を輩出された日本国を、大韓民国と同じオセアル地域として誇りに思います。また、私共にとりましても名誉な年であります。

改めて、世界のライオンズを代表して指導国になられましたことをお祝い申し上げますとともに、貴クラブのますますのご発展を祈念申し上げます。

特に2016年に福岡で開催されます第99回ライオンズクラブ国際大会が、成功裏に執り行われますことを祈念し、大韓民国 釜山地区から多くのライオンズ会員が大会登録と出席することを目標に企画しております。そして私共、釜山中区ライオンズクラブも地区を通じて多くの会員が登録をして出席するための準備中でございます。

最後になりましたが、貴クラブ創立60周年記念式典のご盛会を心からお慶び申し上げ、今期の川久保 仁司会長と役員の皆様の労苦に対し心から敬意を表し、会員の皆様とご家族の皆様のご健勝を祈念申し上げ、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。



台北市第一(中央)国際獅子 第36代会長  
**黃栄富**

このたびは本会男女合計25名の会員メンバーを貴会の60周年記念式典にご参加させていただき、誠に嬉しく存じます。

私は台北市第一(中央)国際獅子会(ライオンズクラブ)第36代会長黄栄富でございます。

両会は結盟から26年を迎え、深い友情と絆が築かれて参りました。

貴会、益々のご発展振りを目にし、本会と致しましては心より敬服致すところでございます。

また、貴会メンバーが本会メンバーに対し、友好かつ親切にして下さっていることを知り、我々は心温まる思いでいっぱいです。

六十年を一甲子と申しますが、いよいよ次の新しい一甲子が始まるにあたりまして、本会が下記お祝いの対句を特選いたしました。

春秋不老歌盛会

甲子重新似華年

上句の意味は本日ご来場のメンバーは60歳以上の方が多く、60歳以上と言ってもまだまだ若いので、皆で楽しくこの貴重な時間を過ごしましょう。

下句の意味は新しい60年の開始、「華年」とは少年を指します。つまり、皆は少年のように活力と情熱を持ち続け、未来を創造しましょう。という意味が込められております。

最後にこの記念式典の成功とここにご出席のライオンズの皆様の幸運とご隆盛をお祈り申し上げます。

# 祝辞

Congratulations



ミャンマーヤンゴンライオンズクラブ  
設立準備会会长

**Myint Wai**

福岡ホストライオンズクラブの皆様、創立60周年記念特別例会、おめでとうございます。このたびはミャンマー『ヤンゴン・ライオンズクラブ設立準備会』のメンバーをはじめ大勢のミャンマーの生徒や先生をお招きください大変有り難うございました。ミャンマー『ヤンゴン・ライオンズクラブ設立準備会』会長のミンウェイと申します。

私は数十年前、日本に留学させていただきましたのがご縁となり、以来ミャンマーと日本の友好親善のため微力ながら努力して参りました。昨年には天皇陛下より旭日小授章授勲の栄誉を賜りました。身に余る光栄に感謝しております。

さて、福岡ホストライオンズクラブの皆様は10年前からミャンマーの貧しい子どもたちや社会のためにさまざまな支援活動を展開されてこられました。その温かく尊い善意の数々に感謝するとともに心から尊敬申し上げます。また、昨年の夏以来、私たちミャンマーの人たち自身によるミャンマーの人たちのためのヤンゴン・ライオンズクラブの創立をご提案ください皆様方の熱い思いに感動しました。We ServeのモットーとLiberty,Intelligence,Our nations Safetyのスローガン、それに「知性を高め、友愛と相互理解の精神を養い、平和と自由を守り、社会奉仕に精進する」というライオンズの誓いに深く共鳴し、昨年7月には約30名のメンバーでヤンゴン・ライオンズクラブ設立準備会を結成することとなりました。現在では約60名のメンバーが一日も早くミャンマー連邦政府の設立許可を獲得すべく一丸となって努力しております。

先月8月、ミャンマーで100万人以上の人々が罹災し、甚大な被害をもたらした大洪水に際し、私たちヤンゴン・ライオンズクラブ設立準備会は、福岡ホストライオンズクラブと初の共同アクティビティとしてエヤワデー管区ヘンタタ、タラウォー、カラチャウン村他2村の約6500名余が住む水没地域に約1万ドルの食糧、衣料、医薬品を届けることができました。

さて、ミャンマーはここ数年の政治・経済の自由化政策実施で急速に近代化が進み、著しい経済発展を遂げていますが、インフラ整備をはじめ、教育・医療や社会福祉分野ではまだまだ未解決の問題を数多く抱えています。

私たちはライオンズ精神に則り、これらの問題解決に自律的に全力で取り組んでいく所存ですが、なにぶん経験も資金も不十分な「生まれたて」の組織ですので、今後ともどうか宜しくご教導・ご支援を賜りますようお願いしてご挨拶とさせていただきます。

2015年9月吉日

心からなる親愛と感謝をこめて

# 感謝の言葉

## Acknowledgment

大会実行委員長（総合プロデューサー）

堺 光則



### 温故知新。60周年を迎える新しき旅立ちへ

1955年、神戸ホストライオンズクラブにより全国13番目、九州で初めてのライオンズクラブとして歴史を刻んで参りました福岡ホストライオンズクラブが60周年を迎えることとなりました。10年前、50周年記念大會会長を務めさせていただくという重責を拝命し、今期ふたたび大会実行委員長として今日この日を迎られましたことに深甚なる感謝を致すとともに60周年という歴史の重さを感じております。

60年の歩みの中には先人たちの尊い足跡が珠玉の輝きを放ち、我々を導いてくださっております。元ガバナーであり国際親善大使として300人もの会員増強を成し遂げられた故L貝島義之の溢れんばかりの情熱、国際理事としてグッドスタンディングメンバーの貢献を果たされた故L土屋呂武の使命感、チャーチメンバーとして12のエクステンションクラブの先導役となった故L杉森司の行動力。他にも多くの先人たちのご努力が確かな道標となって我々を照らしてくださっております。

50周年、55周年、60周年を迎えて、時代の変化をつぶさに感じて参りました。特に女性会員の増強による活性化は大いなる期待が寄せられるところでもあります。我々は常に時代に即応しWe Serveの精神で新しいライオンズクラブを会員皆で変革していくかなければいけないと感じた今回の記念大会でありました。

70年、80年、90年、100年に向けて、この60周年が基盤となってくれればこれに勝る喜びはありません。本年は奇しくも村上薰第65代国際会長ご就任以来、34年ぶり日本人として二人目の山田實紘氏国際会長がご就任されました。この記念すべき佳節にあらためてライオニズムの篤い精神を喚起させていただく機会を与えられましたことに深く感謝致します。また、本日この記念大会に多大なご尽力をいただきました方々、ご臨席賜りましたすべての方に重ねて御礼申し上げます。誠に有り難うございました。

合掌

# 記念式典式次第

Program of a ceremony

## 第1部 記念例会

(16:00~17:20)

1. 歌舞伎口上 ..... L 河津 善博
2. 開会宣言・ゴング ..... 大会会長 L 川久保仁司
3. 国歌・ライオンズヒム斉唱
4. 物故ライオン追悼 ..... L 竹田 奉正
5. 来賓紹介
6. スポンサークラブ紹介
7. 姉妹提携友好クラブ紹介
8. エクステンションクラブ紹介
9. 参加クラブ紹介
10. 大会委員長挨拶 ..... 大会委員長 L 中田 徹
11. 来賓ご祝辞
12. 祝電披露
13. スポンサークラブへの感謝状授与 ..... 大会会長 L 川久保仁司
14. 60周年記念アクティビティ発表ならびに目録贈呈・感謝状授与 大会幹事 L 山田 晃央
15. ミャンマーエクステンション披露 ..... ミャンマーエクステンション設立準備会会长 L 木原 清
16. ライオンズ・ローア ..... 名古屋ホストライオンズクラブ会長 L 大井 富雄
17. 実行委員長挨拶 ..... 実行委員長 L 堀 光則
18. 閉会宣言・ゴング ..... 大会会長 L 川久保仁司

# 祝宴式次第

Program of a celebration

## 第2部

(17:35~19:30)

1. 開宴の調べ ..... 司会進行 L 関戸 秀子
2. ミャンマー訪日団によるスピーチ披露 ..... 司会進行 L 瀧野 隆
3. 大会会長挨拶 ..... 大会会長 L 川久保仁司
4. 乾杯 ..... 335-A地区ガバナー L 岡村 武和
5. 会食・ご歓談  
ジャズ演奏とオペラ演奏をお楽しみください。
6. 「また会う日まで」齊唱
7. 終わりのことば ..... 魚住 昌彦

# アクティビティ

## Activity



1. 盲導犬一頭……(公益財団法人)九州盲導犬協会への継続援助
1. 少年少女俳句…第59回に及ぶ継続事業
1. ミャンマー、ヤンゴン市サウスダゴウ地区ダンマラキッタ寺院付属教育施設増築支援事業
1. ミャンマー、ヤンゴン市ヤタナボン、イエネキン孤児院への食糧・衣料支援
1. ミャンマー、ヤンゴン管区トンゲワ市渴水地区井戸掘り緊急支援
1. ミャンマーライオンズクラブエクステンション準備委員会設置
1. 社会福祉法人JOYひこばえ テント寄贈

アクティビティは、この60年間で2億円になります。(労力奉仕は別)

継続アクティビティは、少年少女俳句大会が今年で57回を数えます。

盲導犬に関しては、28期、46期、56期で1頭ずつ、その他の年度で50万円ずつ拠出しています。

そのほか、若獅子旗西日本なぎなた大会支援、団伊久磨「筑後川」in桧原桜支援等を行っています。

55・56・57・58・59期ミャンマー援助アクティビティ、青少年教育援助を中心に約780万円のアクティビティを実施しました。

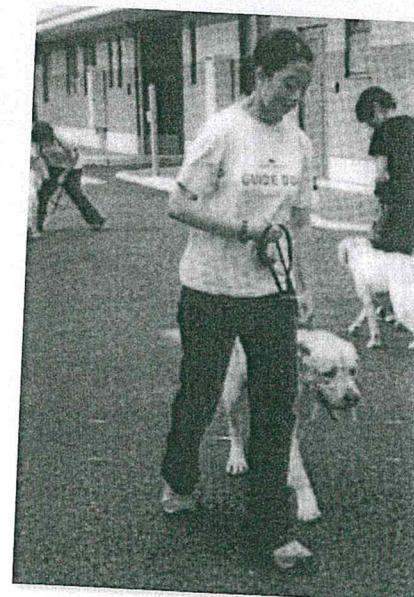
## 財団法人 九州盲導犬協会への支援

視覚障がい者にとって盲導犬は日常生活を支える大切なパートナーであり、家族のような存在といえます。我がクラブに在籍されていたL鶴喜代二(故人)が、盲導犬協会の初代理事長を務められていたご縁もあり、昭和57年より継続した支援を行って参りました。視覚障がい者をお支えする役割を果たすべく厳しい訓練を受け、盲導犬として巣立っていくには、多くの時間と多くのボランティアの方々、訓練士の愛情と努力が不可欠です。従って盲導犬育成は一朝一夕では成し得ません。また盲導犬を必要とする視覚障がい者の10分の一から15分の一程度しか盲導犬は活躍できていないという現状があり、我がクラブでは継続の必要性を十分に検討し、支援を行っています。

S57～S58	28期	1,300,000円 (1頭分)
S59～S60	30期	300,000円
H4～H5	38期	500,000円
H5～H6	39期	500,000円
H6～H7	40期	500,000円
H10～H11	44期	500,000円
H11～H12	45期	500,000円
H12～H13	46期	3,000,000円 (1頭分)
H13～H14	47期	500,000円
H14～H15	48期	500,000円
H15～H16	49期	500,000円

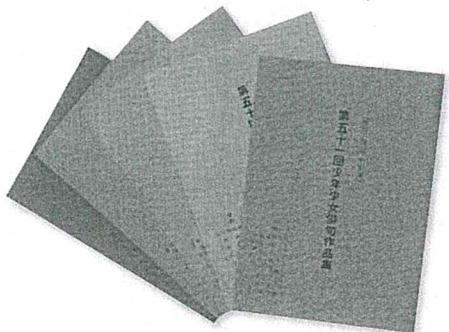
H16～H17	50期	500,000円
H18～H19	51期	3,000,000円 (1頭分)
H18～H19	52期	500,000円
H19～H20	53期	500,000円
H20～H21	54期	500,000円
H21～H22	55期	500,000円
H22～H23	56期	3,000,000円 (1頭分)
H23～H24	57期	500,000円
H24～H25	58期	500,000円
H25～H26	59期	500,000円

計 16,500,000円



## 少年少女俳句の活動

我がクラブ主催の「少年少女俳句」は全国でもあまり例をみないユニークな長期継続アクティビティです。昭和48年より開始し、現在までに56回を数える青少年教育支援のアクティビティとして地域に密着した活動を展開しています。共催の西日本新聞社、後援をいただいている福岡県教育委員会、福岡市ならびに福岡市教育委員会はもとより各小中学校の先生方など多くの皆様の多大なご尽力とご支援を賜わり、現在に至っております。あらためて感謝申し上げます。選者として小原菁々子先生（故人）、長田蘇水先生（故人）、林澄山先生（故人）のご薰陶・ご指導を仰ぎ、現在の池田昭雄先生に俳句を通した情操教育の継承が行われて参りました。豊かでみずみずしい感性を育み、可能性開花の一助を担い今後とも継続発展させていきたいと考えます。



## 社会福祉法人 JOYひこばえへの支援

知的発達障がいを持つ3歳から5歳までの未就学児童をに基本的な生活習慣やコミュニケーションなどの発達支援を行うと同時に保護者に対して必要な助言や支援を行う児童福祉施設であるJOYひこばえへの支援は今年で3期目を迎えました。テントの寄贈はじめ運動会やバザー、餅つき大会等催しへの参加を通じて地域社会に広く理解を求め、協力の輪を広げるべく活動を推進しています。

3少年少女俳句 募集事業実績表

回数	年度	参加校数	応募句数
第1回	S49年度	254	3,489
2	49	66	4,149
3	50	67	3,816
4	50	96	2,925
5	51	703	2,423
6	51	65	3,469
7	52	86	5,716
8	52	80	6,735
9	53	59	3,897
10	53	118	11,881
11	54	70	7,789
12	54	64	11,653
13	55	82	7,308
14	55	87	14,483
15	56	69	12,964
16	56	49	12,880
17	57	62	8,454
18	57	39	12,378
19	58	56	7,687
20	58	59	16,770
21	59	62	9,046
22	59	47	13,559
23	60	50	10,907
24	60	56	17,122
25	61	63	13,650
26	62	75	25,710
27	62	62	15,744
28	63	30	18,810
29	63	78	22,644
30	H1年度	77	25,072
31	2	6	19,412
32	2	82	16,500
33	3	96	27,850
34	4	111	36,960
35	5	126	46,900
36	6	98	5,650
37	7	84	3,156
38	8	78	2,334
39	9	89	3,139
40	10	66	2,682
41	11	80	3,127
42	12	103	3,889
43	13	70	2,631
44	14	54	2,009
45	15	46	1,565
46	16	33	1,031
47	17	45	1,684
48	18	37	1,485
49	19	53	1,969
50	20	49	1,717
51	21	37	1,386
52	22	38	1,162
53*	23	28	1,060
54	24	29	1,152
55	25	23	797
56	26	11	435
4,466 校			56,627 句

## アクティビティ Activity

### ミャンマーダゴウ地区援助アクティビティ

一人のL河津善博による25年前からのミャンマーへの篤い支援が徐々に広がり、大きな力となって数々の支援活動が確かな実を結びつつあります。貧困地区での学校建設とその維持のための教育活動や資金援助をはじめ、老人施設への救急車寄贈、さらには孤児院への数度にわたる食糧支援、渇水地区での井戸掘り緊急援助などを行なっています。また、ミャンマーの恵まれない子ども達にできる最良の支援を行うとともに、自らの行動で自立した教育奉仕が行えるようミャンマー初のライオンズクラブ創設支援を行政とも緊密な連携を取って努力中です。

#### 支援活動実績

第52期 (2007~2008)	ヤンゴン市の最貧困地区の一つであるサウスダゴウ地区 ダンマラキッタ寺院付属教育施設 (約450名在籍) への資金援助	500,000円
第53期 (2008~2009)	ヤンゴン市ヒンディゴー老人病院への施設援助 救急車1台	救急車1台
第54期 (2009~2010)	巨大サイクロン被災者への食糧・医療品援助 ミャンマー医師会への緊急資金援助	500,000円 1,000,000円
第55期 (2010~2011)	ヤンゴン市ダゴウ地区ダマイエッタ寺院付属教育施設用地 買収費援助	500,000円
第56期 (2011~2012)	ヤンゴン市サウスダゴウ地区ダンマラキッタ寺院の学校と 青少年職業訓練所建設第1期援助	500,000円
第57期 (2012~2013)	ヤンゴン市サウスダゴウ地区ダンマラキッタ学校建設資金援助	4,000,000円
第58期 (2013~2014)	ヤタナボン、イエネキン孤児院食糧・衣料品支援 ヤンゴン市サウスダゴウ地区ダンマラキッタ学校教職員給与補助	400,000円 240,000円
第59期 (2014~2015)	ヤタナボン、イエネキン孤児院食糧・衣料品支援 ヤンゴン市サウスダゴウ地区ダンマラキッタ学校増設・改築援助 ヤンゴン市サウスダゴウ地区ダンマラキッタ学校教職員給与補助 ヤンゴン管区トングワ市渇水地区井戸掘り給水設備建設緊急援助 ヤンゴンライオンズクラブ準備会設立支援活動	400,000円 800,000円 240,000円 300,000円



ミャンマーで最初の救急車寄贈(ヒンディゴー老人養護・医療施設)



孤児施設での子どもたちへ「お米」のプレゼント(ヤタナボン・イエキン寺院孤児院)



2006年、私が第52期会長として全会員の会社またはご自宅を訪問させていただいた折、その中の一人であったL河津善博の会社でのできごとです。社長室に掲げてあった写真に目が釘付けになりました。その時、すでに15年も前からミャンマーの多くの孤児や貧困ゆえに学校に通えない子どもたちのために食糧や資金援助、学校建設を独立で嘗々と続けてこられたことをお聞きしたのです。どの国からも、どのNPO法人等からもまったく支援のない孤児院や寺院教育施設への援助という、その純粋で崇高な活動に深い感銘を受け、すぐさま同行をお願いしました。

もともと我がクラブでは、すでに1998年、故L古賀敬之が先人となりご苦労の末、ネパール山間部にギャノダヤ小学校を建設・寄贈されており、そのこともまた強く印象に残っていました。ともかくL河津に同行させていただき2007年2月、ミャンマーを初訪問させていただいたのです。そして、そこですでに忘れかけていた70年前の終戦直後の我が国と同様の悲惨な貧困状況と多くの孤児たちを目撃したりました。私は即座に「何かしなければ」という衝動に突き動かされました。以来8年間、会員の皆様の温かいご理解とご協力のもと、別記のような数々の継続アクティビティを行なうことができました。

現在、私はミャンマー、ヤンゴンに常駐し、会員はじめ多くの方々からご支援を賜りながら「限界のある物資・資金援助」から「ミャンマーの人たち自身による自立活動」を応援するため、

1. ミャンマー初のヤンゴンライオンズクラブ創設支援
2. 青少年に対する教育支援・職業トレーニング支援活動 に努めています。

さらに一方で、故国に未帰還の5万柱以上の旧日本軍将兵のご遺骨収集活動への協力等を行なっています。明日への希望にキラキラ輝く子どもたちの瞳に魅せられ、その素敵で笑顔に背中を押されながら日々活動させていただけております。今後も微力ながらも精一杯努め続けていく所存です。皆様のさらなるご支援・ご理解を心よりお願い申し上げます。

ミャンマー委員会 澤野 隆



新校舎での授業風景

福岡ライオンズクラブが寄贈した新校舎(ダンマラキッタ寺院小学校)



## ライオンズの誓い

福岡ライオンズクラブは、60周年記念式典の節目を迎えてWe Serveをモットーに、  
「我々は知性を高め、友愛と相互理解の精神を養い、平和と自由を守り、社会奉仕に精神する。」

# FUKUOKA HOST LIONS CLUB

